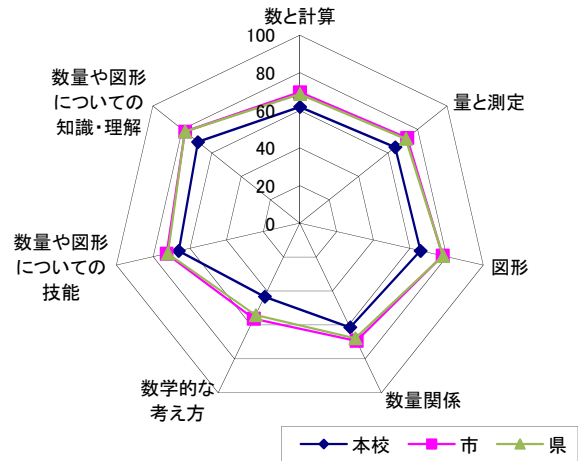


宇都宮市立上河内東小学校第4学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	61.9	69.6	68.7
	量と測定	64.8	72.8	72.0
	図形	65.7	77.8	78.0
	数量関係	61.4	69.4	67.8
観点	数学的な考え方	43.3	56.3	54.2
	数量や図形についての技能	66.1	72.7	72.0
	数量や図形についての知識・理解	69.3	78.2	78.1



★指導の工夫と改善 ○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○4位数－4位数、同分母の真分数＋真分数の計算については、市・県の正答率を上回っている。 ●3位数×2位数、整数－1／10の位までの小数の計算については、市・県の正答率を下回っている。 ●数直線上に示された分数の表し方、分子が1の分数が何個で1になるかの理解については、市・県の正答率を下回っている。	・筆算の位をそろえて計算したり、繰り上がり、繰り下がりの数字を書かせたりすることを徹底するとともに、見積もりや見直しなども習慣づけるようにしたい。 ・分数と小数については、具体物や数直線、図など視覚的に捉えやすいものを活用して、分数や小数のしくみを十分理解させたい。
量と測定	○はかりの目もりを読んだり、身近にあるものの重さを観察することは、市正答率と同程度である。 ●ある時刻から一定時間前の時刻をもとめることについては、市・県の正答率を下回っている。 ●時間の分と秒の単位の関係の理解については、市・県の正答率を下回っている。	・時刻と時間については、始めの時刻と終わりの時刻、その間の時間を時計の図や数直線に書き表しながら、60進法の仕組みを十分理解させる。
図形	○円の直径や二等辺三角形の定義はよく理解している。 ●球の半径と直径の関係の理解については、市・県の正答率を下回っている。 ●正三角形の作図については、市・県の正答率を下回っている。	・円の半径と直径の関係については、具体物を使ってもう一度確認する。 ・正三角形の作図については、正三角形の性質や、コンパスの使い方をもう一度確認する。作図をする機会を多くとる。
数量関係	○わり算の文章問題を表した図を理解しているについては市正答率を少し上回っている。 ●文章問題を解くために除法の式を立式し、その式から正しい答え求めることについては、市・県の正答率を下回っている。 ●棒グラフを読み取り、提示された条件に該当する項目を示すことについては、市・県の正答率を下回っている。。	・文章問題においては、キーワードを見付けながら意味をよく考えて式を立てるよう、繰り返し指導する。 ・棒グラフについては、様々な目盛りや単位のグラフを読み取ったり、描いたりする学習を通して、一層の定着を図りたい。